

# 藝 振



大分県芸術文化振興会議

No.117

平成17.3

もくじ	
感動を今、そして未来へ	1
第6回大分県民芸術文化祭受賞行事及び団体	2
第6回大分県民芸術文化祭大賞受賞行事	3
平成16年度基金事業	4
40周年記念事業	5
これから開催される補助事業	5
海外派遣研修報告	6
加盟団体活動紹介	7
事務局だより	8

発行人：脇 正人 編集人：安藤啓士 (題字：平 盛典)



## 感動を今、そして未来へ

大分県企画振興部

部長 武田 寛

厳しい寒さも日ごとに遠ざかり、今年もまた花の季節が巡って参りました。大分県芸術文化振興会議の皆様方におかれましてはますますご活躍のこととお喜び申し上げます。

昨年は、芸振会議40周年という節目に、文芸、美術、舞台の各分野において、充実した記念行事が開催され、県民文化の裾野の広さ、積み重ねてきた実力の高さを県内外に広くアピールするとともに、文化芸術の力や地域づくりにおける大きな役割について改めて思いを巡らす契機となりました。芸振会議会員の皆様が、40周年記念事業の輝かしい成果を活かし、多くの方々と協力しながら、芸術文化のより一層の活性化に取り組んでいただくようお願いします。

昨年まで6回にわたり開催してきました大分県民芸術文化祭も、平成17年度からは、民間団体を中心に、県民自身が創り上げる文化祭へと移行することとなっております。このような動きの中で、県内全域の広い分野の会員が集い、豊富な活動実績を有する芸振会議へ寄せられる期待は極めて大きなものがあります。県民文化の牽引役としての皆様のご奮闘を期待しております。

県では、少子高齢化や過疎化の進展、価値観、ライフスタイルの多様化など変貌する地域社会の中で、心豊かで活力あふれる県民生活を実現するため、この3月に、文化振興条例の基本方針を定めました。その中で「人」を育て活かす、「伝統」を生かす、「本物」の文化にふれる、という3点を基本視点として、一人ひとりの県民が文化の担い手であり、文化を県民共通の財産として尊重し継承することを明確にし、創意工夫による文化の香り高い地域社会づくりをめざして文化施策を総合的かつ計画的に推進していくこととしております。

今後とも、会員の皆様方が、芸術文化を通じた地域社会の活性化に向けご活躍されるよう祈念しております。



首藤詔子 (県美協会員)

## 平成16年度芸術文化関係受賞者等一覧

旭日双光章 地域文化功労者文部科学大臣表彰 大分県知事表彰文化振興功労者  大分合同新聞文化賞 功労賞 芸術文化 久留島武彦文化賞	脇 正 人 (大分県芸術文化振興会議会長) 中 沢 とおる (大分県県民演劇制作協議会会長) 大分県美術協会 (会長 脇坂秀樹) 大分県吹奏楽連盟 (会長 糸永信義) 大分マンドリンオーケストラ (代表 宮吉 寛) 谷 村 育 子 (大分谷村颯々会代表) 大分県芸術文化振興会議 谷 村 育 子 (大分谷村颯々会代表) 後 藤 惣 一
---	---

## 第6回大分県民芸術文化祭賞受賞行事及び団体

賞	受賞行事	受賞団体	理 由
大 賞	大分県芸術文化振興会議40周年記念 よみがえれ三浦梅園 「玄語」の森	大分県芸術文化振興会議	大分県芸術文化振興会議の40周年記念事業。三浦梅園役の嵐圭史氏の語りで梅園の思想を解き明かし、その内容を芸術加盟各団体が工夫を凝らして表現した。エンディングは出演者約300人全員で「豊の国讃歌」を大合唱し、感動的な舞台を創り上げた。
奨励賞	第2回昭和の町音楽祭	西高の町を盛り上げる会	今や全国的に有名になった「昭和の町 豊後高田」のさらなるPRと「地元に残る若者により毎年開催される全国レベルのイベント」を目指して開催。今回は6組のアーティストが出演。昭和の町秋のイベント開催時ということもあり大盛況だった。
奨励賞	大分県芸術文化振興会議40周年記念 文芸講演会	大分県芸術文化振興会議文芸部門	芸術40周年にあたり、記念事業として広く県民向けの文芸講演会を開催した。NHK学園川柳講座編集主幹・大木俊秀氏による講演は短文学及び日常生活全般に通じるわかりやすい内容で、聴衆に深い感銘を与えた。
奨励賞	大分県美術協会40周年記念 第40回大分県美術展	大分県美術協会	県内美術家の作品展として大分県を代表する美術展。今回は三展合わせて2,023展の作品を展示し、40年の節目にふさわしい充実した内容の展覧会となった。
奨励賞	一人芝居 童謡詩 雨がふります 江口章子と金子みすゞ	大分県県民演劇制作協議会	県民演劇262作目となる作品。江口章子を県民演劇として敢えて3度取り上げ、一人芝居という実験的作劇法により章子と金子みすゞが一生をかけて貫いた歌人としての人生を描き、成功を収めた。
奨励賞	竹楽	竹楽実行委員会	「竹楽」は今年で5回目を迎え竹田の秋を代表するイベントとなっている。合計2万本の竹灯籠で幻想的にライトアップされた城下町を一層引き立てる演出として、街頭での街角コンサートを実施、観光客にも文化の香り高いイベントとして「音楽のまち竹田」を印象づけた。
奨励賞	第20回大分方言まるだし弁論大会	大分方言まるだし弁論大会実行委員会	時代の流れのなかで消えようとしている方言にスポットを当てた貴重なイベントで県民をはじめ多くの人に親しまれ、定着している。第20回の記念大会となる今回は過去の本大会受賞者が熱弁をふるい、会場を大いに盛り上げた。
奨励賞	第6回大分市民洋舞踊フェスティバル	大分市民洋舞踊フェスティバル実行委員会	今回で6回目となるおおい洋舞連盟に加盟する11団体による洋舞踊公演。クラシックバレエ、モダンダンス、フラメンコ、創作洋舞など多彩なジャンルの洋舞踊で観客を魅了した。
奨励賞	きよかわ「彩」宝生寺の秋	清川村観光協会	ライトアップされた紅葉が荘厳な雰囲気醸成し、本堂では地元の料理研究者による精進料理も味わえ、また、野天、オカリナ演奏も彩りを添えるなど「色と音と食」にスポットを当てた、村民手づくりのイベントとして定着してきている。
奨励賞	立川清登没後20周年記念 オペラハイライト	大分県県民オペラ協会	立川清登没後20周年にあたり、立川氏の出演作品「吉四六昇天」と「こうもり」よりハイライトを上演し、バイオリナーあふれる歌声で観客を魅了したその偉業を偲んだ。
特別賞	創立40周年記念 第28回定期演奏会	大分交響楽団	大分交響楽団の創立40周年を記念する第28回目の定期演奏会。本県出身の指揮者及びソリストを迎え、また、演奏曲目に瀧廉太郎の「荒城の月」を加えるなど、地域色を取り入れた質の高いコンサートを実施した。



## 連帯発展の40年

40周年記念事業特別公演実施部会  
事務局長 佐藤 朱音

昨年10月10日にグランシアタで上演した、“よみがえれ三浦梅園「玄語」の森”に、第6回大分県民芸術文化祭賞大賞が与えられました。この舞台に関わった大勢の方々と共に、栄えある受賞を喜びたいと思います。またご尽力下さいました多くの関係者の皆様方には心から感謝を捧げます。

この作品は、実施部会で「40周年を迎える大きな節目に際し、積み上げてきた芸振の歴史を思い、またジャンルを越えて広く連携し、共に発展して未来へと繋ごうという芸振発足の原点を再確認していこう」と話し合われたことから始まりました。

連帯、共生が主題、それに最もふさわしい素材を、そして今まで実現できなかったことに挑戦しようということから、調和の哲学者—郷土大分の先哲の一人の三浦梅園の名著—「玄語」に表された思想の舞台化をということになり、それが実現致しました。

私たちは当初よりたくさんの方々にご協力を戴く等、好運に恵まれました。NHK大分放送局様のお力添えも戴き、BSでの全国放映が実現、思っても見なかったことで驚くやら、これで郷土の歴史的文化遺産を通して世界平和を訴えようという意気込みにも弾みがつきました。

世界が仰天するような宝物がもっともこの大分には眠っているかもしれません。よみがえれ豊の国♪と大合唱した、今回の私達の試みが若い世代へと引き継がれ、活力ある大分への掛け橋のひとつとなっていくことを願っております。



H16.10.10 大分県立総合文化センターグランシアタ

# 平成16年度大分県芸術文化基金事業

## 芸術文化振興事業実施報告

	市町村名	実施日	会場名	鑑賞者数	公演団体
1	姫島村	5月7日	姫島小学校	153	ハンドベルリンガーズ
2	津久見市	5月25日	越智小学校	32	大分市児童文化研究会
3	津久見市	5月25日	堅徳小学校	105	大分県児童文化研究会
4	千歳村	6月8日	千歳小学校	132	種田ほがらか劇団
5	佐伯市	6月8日	佐伯養護学校	45	Y Oの会
6	津久見市	6月20日	津久見小学校	517	ハンドベルリンガーズ
7	中津江村	6月19日	中津江村民ホール ウッドアイ	150	大分マンドリンオーケストラ
8	直入町	6月22日	長湯小学校	91	カサデギターラ
9	直川村	7月10日	直川村公民館	186	ゼーレ管弦楽団
10	姫島村	7月16日	姫島中学校	95	大分県県民オペラ
11	三光村	10月30日	三光村中央公民館	123	大分県児童文化研究会
12	豊後高田市	11月13・14日	豊後高田市健康交流センター	156	大分県美術協会
13	杵築市	11月8～14日	杵築市民会館	1107	大分県美術協会（日洋彫工部会）
14	蒲江町	11月9日	蒲江町中央公民館	478	大分県三曲協会
15	津久見市	11月12日	久保泊小学校	28	大分県三曲協会
16	野津町	11月15日	都松小学校	42	グループU N O
17	日出町	12月7日	大神小学校	302	Y Oの会
18	山香町	平成17年1月19日	山香町役場タウンホール	120	ゼーレ管弦楽団
19	大分市	平成17年2月6日	滝尾小学校	370	アンサンブルO I T A
20	米水津村	平成17年2月24日	米水津村民センター	50	大分県人形劇サークル協議会
21	朝地町	平成17年2月17日	朝地中学校	203	大分県県民オペラ
22	大分市	平成17年2月27日	中島小学校	337	大分県庁職員吹奏楽団
23	国見町	平成17年3月5日	国見町生涯学習センター	150	スウィングエコーズジャズオーケストラ
			合 計	3,838	



H16.11.9 蒲江町中央公民館



H17.2.24 米水津村民センター

# 大分県芸術文化振興会議40周年記念事業

記念式典 12月13日「文化を語る夕べ」当日感謝状及び特別感謝状の贈呈式を行った。

○感謝状（地域文化功労者）

山香町文化連盟	野川民安	佐賀関町文化協会	古山信孝
大野町文化団体連絡協議会	工藤誠太	玖珠町文化振興会	古後和男
別府市芸術文化協会	花柳昌吉郎		

○特別感謝状

顧問 仲町謙吉

文芸部門

○10月3日（日）大分文化会館において講師にNHK学園川柳講座編集主幹大木俊秀氏を招き講演会を行い、文芸関係者はじめ220名が集まった。演題は「ことば—その文字と音とリズム」

○大会記念作品集作成（各ジャンルの大会入賞作品集）

美術部門

○秋の県美展を大分県芸術文化振興会議40周年記念事業・第40回記念大分県美術展として開催した。今回は各部会展で大分県芸術文化振興会議40周年記念賞を次の3名が受賞した。

写真展	大分市 仲野洋子	日洋彫工展	別府市 合田晋一
書道展	日出町 浅野翠月		

○各部会 40周年記念作品集及び大分県美術協会40年小史を作成した。

舞台部門

「よみがえれ三浦梅園『玄語』の森」

10月10日（日） 13：30～ グランシアタ

脚本演出をふじたあさや氏に依頼、特別出演に嵐圭史氏（前進座）、江林智施氏（前進座、大分市出身）を迎え、300名を越える会員が出演し、県民芸術文化祭賞大賞を受賞した。入場者はおよそ1700名。

## H17.4～9月開催予定の補助事業

実施時期	事業名	会場	主催団体
4月5～10日	第19回二科会（写真部・デザイン部）大分県支部公募展	大分県立芸術会館	二科会大分県支部
4月24日	平成17年度春季地方演奏会	別府市民公民館	大分大学マンドリンクラブ
5月10～15日	2005春季県美展写真展	大分県立芸術会館	大分県美術協会（写真）
5月24～29日	05春季大分県美術展	大分県立芸術会館	大分県美術協会（日洋彫工）
5月15日	第53回短歌大会	大分文化会館	大分県歌人クラブ
5月17～22日	2005年春季公募展 大分県美術展書道展	大分県立芸術会館	大分県美術協会（書道）
5月8日	第30回九州マンドリンフェスティバル	由布院青年の家	大分マンドリンオーケストラ
6月頃	第27回公演	未定	劇団OTC
7月26～31日	第32回行動大分作家展	大分県立芸術会館	行動大分作家協会
7月31日	第52回歌帖社全国短歌大会	豊泉荘	歌帖社
7月31日	第34回都山流尺八演奏会	コンパルホール	都山流尺八楽会大分県支部
7月	第50回蒼土展	大分県立芸術会館	蒼土会
7月	第29回大分県マンドリン連盟フェスティバル	はさま未来館	大分県マンドリン連盟
8月9～14日	第35回りぶの会展	大分県立芸術会館	りぶの会
8月21日	第18回大分県少年少女合唱祭	大分県立芸術会館	大分県少年少女合唱連盟
8月末または9月上旬	05大分自由美術展	大分県立芸術会館	大分自由美術
8月中旬	2005大分二紀展	大分県立芸術会館	大分二紀会
8月	第47回別府市美術展	別府アリーナ	別府市美術協会
8月7日	滝麻太郎記念作詞・作曲・ピアノ・声楽コンクール	音の泉ホール	大分音楽研究会
8月～11月	創作舞踊研究会 第20回公演	かんたん倶楽部	創作舞踊研究会
9月11日、10月23日	第33回大分県音楽コンクール 予選会本選会	大分県立芸術会館	大分県音楽協会

県外で開催される行事

6月25、16日	第28回全日本合唱おかあさんコーラス九州支部大会	宮崎県立芸術劇場	合唱団「藍」、女声コーラス「朝日」
7月30日～8月1日	第7回世界合唱シンポジウム「世界合唱の祭典 京都」 「おかあさんコーラスコンサート」	国立京都国際会館 京都コンサートホール他	エリカフラウエンコール
8月上旬	第14回日韓現代絵画交流展	韓国	日韓現代絵画交流展実行委員会
9月24日	桜花音楽会	中国 武漢市	コール銀河
9月	第60回九州合唱コンクール	熊本県立劇場	大分市民合唱団ウィステリアコール

この開催予定は平成16年10月31日現在のものです。詳しくは主催団体におたずねください。



## イタリアでの勉強と体験を素に

大分県県民オペラ 野村 高子

出来る限りの事を自分の中に取り込もうと意気込んで出発した、昨年のイタリア到着時、つい昨日のような気がしてなりません。

あの時、先生の一言一言を聞き損なわないようにと真剣に取り組む自分を考えると、懐かしい気がします。今、現在、合唱団や生徒達の指導に当たり、あの時の経験が、全てに、活かされていると感じられます。もちろん、私自身も、指導しながら、再度確認している事に気がつきます。つまり、教えながらも、教えられているという事なのかもしれません。

今年6月3日に、初めてリサイタルを開く事となり、あの昨年のイタリア修了コンサートの気持ちを思い出します。

「音楽は、心で歌い、けっして力まず、自分自身の力を出しきる事」、あと数ヶ月の期間、一日一日を大切に、指導に、勉強にと、がんばりたいと思っています。



## 中国に書道留学をさせていただいて

大分県書道学会 藤本 篤

漢字の発祥の地、中国に留学することは、書を生涯志す私にとって、大きな夢の一つでした。今回、海外派遣に県美協書道部会、大分県書道学会より推薦を頂き、一ヶ月間中国北京師範大学に書道留学する機会に恵まれました。

支援して下さったたくさんの方々感謝しています。

留学では、書法の歴史、技術だけではなく、中国そして書の“生きる力”を見ることができました。何千年も昔から書体を幾度と変化させた漢字は、超高層ビルが並びたつ中国の現代空間においても、まるで横綱のように息づいていました。自国の民族がつくりだした漢字への誇りが感じられ、それが民族意識として中国文化と溶け合っている姿がどんな小さなものにおいても見る事ができました。人々が漢字を愛する姿を目にして感動する毎日でした。

留学で見た“生きる力”を活力を以って教育現場や芸術活動を通じ、たくさんの人に紹介したいと思っています。字を書くことのすばらしさ、喜び、楽しさを伝えていきたいと思っています。文化を活かし愛することは日本においても普遍なものであると信じて。



## 伝統文化の振興を願って

華道家元池坊大分支部代表 阿南 和子

華道家元池坊大分支部は昭和2年に結成され家元の承認を得て以来約80年になります。いけばな池坊の歴史は、華道家元池坊専慶宗匠にはじまり、現在四十五世池坊専永宗匠まで五百有余年連綿と受け継がれています。日本や世界各国にいる門弟の心強く誇りとするところであります。と同時に、“この一流の教え”を後輩に継承していく使命を重く胸に刻み、日々、いけばなの高揚に努めております。四季おりおりの花や枝葉の美しさを心で表現し、人々の心にやすらぎを感じていただければ、この上ない喜びに存じます。大分県芸術文化振興会議の会員として約20年間活動を続ける中で県内文化行事にも数多く参加して参りました。特に今年は大分県民芸術文化祭の共催行事として“次代へつなごう花と和”のタイトルにて若い社中や学校の生徒さんを対象の花展を開催しました事を意義深く感じております。今は、支部創立80周年を青年部と共に実りある花展にしたいと願っております。



H16.10.25 大分支部研究会



## オペラ『カルメン』の上演に向けて

大分オペラアンサンブル 会長 阿部 容子

本会は、イタリアオペラを中心にアンサンブルの美しさを追求するとともに、県民の皆様にもオペラの楽しさを知っていただきたいと願い、平成8年に結成しました。

これまで、『椿姫』『リゴレット』等のハイライト公演を開催し、12年には県民演劇の清末代表のお力添えで、モーツァルトのオペラ『魔笛』を新しい演出で上演いたしました。

今年は、11月27日にグランシアタでビゼーのオペラ『カルメン』を上演します。

合唱団は公募により、また、オーケストラは今回のために結成し、指揮者に新進気鋭の船橋洋介氏を迎えて総勢170名で演奏します。

合唱団もソリストも、基本である音楽を大切にしながら質の高い演奏を目指して、昨年11月から練習に励んでおり、今から幕が上がるのを楽しみにしています。是非お越しく下さい。

# 事務局だより

## ● 会費納入のお願い

平成17年度会費の振込用紙を同封していますので、納入をお願いします。

また、未納の会費については3月に納入のお願いと振込用紙をお送りしています。なるべく早く納入してください。なお、規約により会費の滞納が2年になると自然退会となりますので、ご注意ください。

## ● 団体代表・事務局等の交替は届け出を

団体事務局の所在地、代表者、事務局等が変更する場合は芸振事務局までお知らせ下さい。郵便・メール・FAXなど、できるだけ文書でお願いします。

## ● 平成17年度通常総会のお知らせ

平成17年度通常総会は平成17年6月23日（木）県共同庁舎14階大会議室で開催の予定です。別途ご案内いたします。会員皆さんの出席をお願いします。

## 新 会 員 紹 介

### ■ 団体会員

部門	団体名	事務局所在地	代表者氏名	事務局長氏名	団体の目的	会員数	設立年月日	設立後の経過
音楽 95	ピアノ演奏グループ「未来」大分県支部		宇薄真奈美	佐々木恵衣子	会員の演奏技術の向上とピアノ教育における指導内容の研究を目指し、音楽文化の発展に貢献すること。	18名	1986年6月	1986年の設立以来、毎年定期コンサートを開催。2005年には20周年記念演奏会を予定している。
演劇 18	児童劇団チャイルド		植田加代子	植田加代子	大分市の幼稚園児、小学生からなる劇団で、いろいろな表現方法を学び、みんなで舞台を創りあげる楽しさを知ってもらおうと発足した。	30名	平成8年4月1日	平成8年の旗揚げから「オズの魔法使い」「長くつ下のピッピ」など7回の公演を行う。平成17年にはダンスシアター「黒猫団と4匹のきょうだい」を公演予定。

### ■ 個人会員

氏 名	住 所	部 門
花柳鶴多恵		舞 踊

## 大分県文化年鑑編集執筆委員一覧

ジャンル	氏 名	ジャンル	氏 名	ジャンル	氏 名			
文芸部門編集委員	後藤 惣一	執筆委員	河野 公記	執筆委員	洋舞	佐藤 朱音		
執筆委員	小説	後藤 惣一	〃	デザイン	波多野義孝	〃	日舞	花柳笹之丞
〃	現代詩	長谷目源太	音楽部門編集委員	辛島 光義	〃	民踊	伊坂 香里	
〃	短歌	伊勢 方信	執筆委員	声楽	堤 俊博	演劇部門編集委員	中沢とおる	
〃	俳句	浅倉 寒月	〃	室内楽	辛島 光義	執筆委員	自立演劇	清末 典子
〃	現代俳句	足立 雅泉	〃	吹奏楽	斎藤 哲哉	〃	高校演劇	飯田 昭一
〃	川柳	猪俣 吞童	〃	オーケストラ	渋谷 統	児童文化部門編集・執筆委員	首藤 悦爾	
〃	連句	中森 順和	〃	作曲	倉野 洋子	能楽部門編集・執筆委員	緒方 基秀	
〃	俚謡	土屋 北彦	〃	合唱	秋篠 豪宏	生活文化部門編集・執筆委員	編集事務局	
美術部門編集委員	日名子金一郎	〃	オペラ	小長 久子	文化財部門編集・執筆委員	江田 豊		
執筆委員	洋画	渡辺 恭英	〃	軽音楽	上田 耕作	表紙デザイン	久保木真人	
〃	日本画	鈴木 忠実	〃	邦楽	野仲 矢山	仕切り紙カット	合田 習一	
〃	彫刻	柚野 朝男	〃	民謡	安東 陽	編集事務局	中野 幸和	
〃	工芸	佐藤 武郎	〃	吟界	福永 瀧壺	〃	辛島 光義	
〃	書道	平 晟齋	舞踊部門編集委員	佐藤 朱音	〃	〃	久保木真人	